

第60代全日本チャンピオン

平成17年度

第60回天皇賜杯・皇后賜杯全日本ソフトテニス選手権大会

平成17年9月23日～25日 厚木市



史上最多の6回目の優勝を成し遂げた
[男子]中堀成生・高川経生(広島・NTT西日本広島)



連覇を達成した
[女子]渡邊梨恵・堀越敦子(広島・NTT西日本広島)

平成17年度 各層の全日本チャンピオン

| 大会名 | 男子 | | 女子 | |
|-------------------|----------------------|---------------------|--------------------|----------------------|
| 全日本小学生選手権 | 石塚祐成・大津育人(山形) | 鶴岡・余目ソフトテニススポーツ少年団 | 小林奈央・楨尾仁美(岡山) | 倉敷ジュニアソフトテニスクラブ |
| 全国中学校選手権 | 林田和樹・巽 慎也(奈良) | 片塩中学校 | 弓野加佳・佐藤那帆(岡山) | 就実中学校 |
| 全国高校選手権 | 村上雄人・黒羽祥平(三重) | 三重高校 | 杉本 瞳・大庭彩加(岡山) | 就実高校 |
| 全日本学生選手権 | 柴田健吾・玉置雄基(日本学連) | 天理大学 | 新井麻理子・海江田佐奈美(日本学連) | 東京女子体育大学 |
| 全日本社会人(一般) | 花田直弥・川村達郎(京都・岡山) | 京都市役所・岡山市役所 | 高橋美香・宗久容子(香川) | NTTドコモ四国 |
| 全日本社会人(成年) | 鹿島庄一郎・平原幸典(宮崎) | 都商OBクラブ・宮崎工業高校 | 牛崎明美・江口京子(埼玉) | 上尾レディース・岩槻すみれ |
| 全日本シニア | 45 吉田 裕・谷本満裕(徳島) | 阿南クラブ | 薄 妙子・西俣直子(愛知) | 刈谷クラブ |
| | 50 小早川卓也・高原一郎(奈良・大阪) | 榎原クラブ・八尾市ソフトテニス協会 | 増田加奈・刈谷さと志(愛知) | 岡崎バードクラブ・一宮ソフトテニスクラブ |
| | 55 倉田基康・増田財治(岡山・山口) | 岡山南高クラブ・下関白球会 | 森田倫子・金野英子(埼玉) | 杉の子ファミリー・川越OTA |
| | 60 中尾和三・高田晴隆(東京) | 世田谷テニス | 山本敏子・金谷晴子(静岡) | 宮フレンド・さざの宮ママさんクラブ |
| | 65 原田公夫・森本 勲(鳥取) | 奥アンツーカー・湊山クラブ | 高羽邦子・水越富士子(大阪) | 堺レディース・高槻ソフトテニスクラブ |
| | 70 余田尚正・松尾武雄(大阪) | 八尾市ソフトテニス協会・大阪庭球クラブ | 福田久恵・明井一子(大阪・京都) | 枚方市ソフトテニス連盟・京都女子クラブ |
| 75 白井信孝・菊池広太郎(千葉) | 柏クラブ・高根台クラブ | 深沢恭子・太田碩子(長野) | 松本市ソフトテニス協会 | |
| 全日本シングルス選手権 | 篠原秀典(日本学連) | 日本体育大学 | 渡邊梨恵(広島県) | NTT西日本広島 |

平成17年度 最優秀監督・優秀監督・最優秀選手・優秀選手・敢闘選手

| 平成17年度最優秀監督 | | | | 平成17年度優秀監督 | | | |
|-------------|----|-------|-----------|------------|----|-------|--------------|
| 実業団 | 男子 | 曾川 剛 | NTT西日本広島 | 実業団 | 男子 | 伊藤 雅樹 | 東邦ガス |
| | 女子 | 古賀 俊彦 | サンライフ | | 女子 | 金治 義昭 | 東芝姫路 |
| 大 学 | 男子 | 西田 豊明 | 日本体育大学 | 大 学 | 男子 | 加藤 史夫 | 日本大学 |
| | 女子 | 武田 博子 | 東京女子体育大学 | | 女子 | 西田 豊明 | 日本体育大学 |
| 高 校 | 男子 | 西森 卓也 | 高田商業高等学校 | 高 校 | 男子 | 中津川澄男 | 東北高等学校 |
| | 女子 | 檜村 正明 | 就実高校 | | 女子 | 伊加 英隆 | 尽誠学園 |
| 中 学 | 男子 | 奥村 浩一 | 奈良市立都南中学校 | 中 学 | 男子 | 渡辺 武仁 | 岡山市立藤田中学校 |
| | 女子 | 檜村 正明 | 就実中学校 | | 女子 | 白田 英雄 | 埼玉県杉村町立広島中学校 |
| 小学生 | 男子 | 新子 智子 | 奈良県A | 小学生 | 男子 | 中川 一行 | 大阪府 |
| | 女子 | 濱中 嘉彦 | 奈良県A | | 女子 | 西 吉和 | 石川県 |

平成17年度最優秀選手

| | | | | | |
|----|-----------|----------|----|-----------|----------|
| 男子 | 中堀成生・高川経生 | NTT西日本広島 | 女子 | 渡邊梨恵・堀越敦子 | NTT西日本広島 |
|----|-----------|----------|----|-----------|----------|

平成17年度優秀選手

| | | | | | |
|----|-----------|-------------|----|------------|------|
| 男子 | 花田直弥・川村達郎 | 京都市役所・岡山市役所 | 女子 | 玉泉春美・上嶋亜友美 | 東芝姫路 |
|----|-----------|-------------|----|------------|------|

平成17年度敢闘選手

| | | | | | |
|----|-----------|--------|----|-----------|-------|
| 男子 | 松口友也・小林幸司 | 日本体育大学 | 女子 | 佐藤佳奈・緒方優紀 | ヨネックス |
|----|-----------|--------|----|-----------|-------|

第4回

東アジア競技大会ソフトテニス競技

開催期間 平成17年10月29日～11月2日

開催地 マカオ

参加国 5カ国

日本チーム入賞結果

女子団体戦

第1位

日本女子チーム

監督 渡部 政治

選手 玉泉 春美 上嶋 亜友実 渡邊 梨恵
堀越 敦子 河野 加奈子 濱中 洋美

日本女子
3種別完全制覇

男子団体戦

第2位

日本男子チーム

監督 北本 英幸

選手 中堀 成生 高川 経生 菅野 創世
浅川 陽介 小峯 秋二 篠原 秀典

女子ダブルス

第1位 玉泉 春美・上嶋 亜友実
第3位 河野 加奈子・濱中 洋美

女子シングルス

第1位 玉泉 春美
第3位 河野 加奈子

男子ダブルス

第3位 中堀 成生・高川 経生

男子シングルス

第3位 菅野 創世



29日 結団式



結団式後



女子決勝・玉泉組勝利



女子団体金



女子団体金 表彰後



女子団体優勝を決めて



男子団体銀



男子団体銀 表彰後

テクニカルデレゲート(技術代表)として

(財)日本ソフトテニス連盟
国際委員長 星野 博

本競技会の開催準備に際し、2003年から通算5回マカオを訪問、又マカオ東アジア競技大会組織委員会(MEAGOC)からも担当者が日本を訪れ、詳細な打ち合わせを行い大会の成功のため諸準備にあたった。マカオ自体総人口45万人の国であるが、チャイナマカオとして、2000年に大阪で開催された第3回大会についての開催となる。マカオ東アジア競技大会は、ソフトテニスははじめ17の競技が正式種目として実施され、ソフトテニスは第1回の公開競技として上海で行われ、以降第2回大会から正式種目として連続して実施されている。

東アジアに加盟する国・地域は日本・韓国・中国・中華台北・モンゴル・北朝鮮・香港・マカオ・グアムの9つである。

前回の大阪大会では、日本連盟・大阪府連盟を中心に各国・地域からの派遣役員・審判員と日本国内からの派遣審判員の協力のもと実施されたが、今回のマカオはソフトテニス連盟が無く、アジア連盟からの要請により各参加国・地域から役員・審判員を派遣しての開催となった。

会場のマカオアカデミーテニスコートは、センターコートを含め9面のハードコートが準備されたが、本大会から採用されたテニス競技との共同使用でアジアテニス協会ははじめマカオテニス協会との協議を行い準備が進められた。

当初4月にコートが完成の予定であったが工事の遅れから大会直前の10月10日に完成、ソフトテニスは団体戦男女・個人戦男女(ダブルス・シングルス)の計6種別が行われた。

参加は前回の大阪大会同様で日本・韓国・中華台北・中国・モンゴルの5カ国・地域であったが、数年前からマカオ選手の養成に日本ソフトテニス連盟も協力し、日本での合宿や、マカオ関係者の審判講習会をマカオで開催するなどの協力を行ったがマカオ選手の

参加が男女とも無く、又審判員も少なく残念であった。

マカオとしては最良の季節であるが、競技第1日・2日・3日は時折雨も降り、ぐずついた天気であったが最終日ようやく太陽の見える状態となった。

競技運営・審判は日本、韓国、中華台北、中国、モンゴルの参加5ヶ国・地域からの派遣役員が行い、多くのMEAGOCスタッフの協力を得られた。

日本からは選手関係者はじめ多くの方々駆けつけ熱心な応援を繰り広げられた。

大会会場のテニスアカデミーでは、ソフトテニス競技とテニス競技が行われたが、お互いの競技日程を調整し、ソフトテニスの全種別の決勝戦はすべてセンターコートにて実施することができた。

大会運営は日本から藤原伸二競技委員長・丹崎健一(東京)・佐伯善春(佐賀)・蒲原英敏(広島)・小野政昭(広島)の国際委員長が中心となり、試合予定・練習予定・採点票作成・正式記録作成・テニス競技との調整を行った。

又、大会使用球として山口正紀(ナガセケンコー)、公式ストリンガーとして鍵和田敦(ヨネックス)・廣島敦史(ゴーセン)が大会をサポート。

連盟組織の無い国での開催で、プログラム・選手ゼッケン等も組織委員会で手配する予定が現地入りしてから何も準備されておらず、急遽コピーでプログラムを作成し、完成したのが監督会議の直前、ゼッケンは競技第1日の選手集合直前という、綱渡りな状況で、大会第3日にはセンターコートのポールが倒れるハプニングもあり、応急工事で対応した。

派遣審判員は、レフェリーとして日本連盟小原信幸審判委員長・アンパイヤーとして今井史郎(東京)・内田政和(三重)・田中敏雄(東京)・今泉清一(東京)片岡新平(広島)・藤川幸徳(広島)と中国・韓国から各6名・中華台北から4名・モンゴルから2名、地元マカオから5名の計29名で対応した。

2006年に開催されるドーハ・アジア競技大会も開催国であるカタールにソフトテニス連盟が無く、今回と同じ状況での開催となるが、今回の反省点を洗い直し、準備を進めたい。

平成17年12月3日(土) 東京にて第4回東アジア競技大会の女子完全優勝祝勝会が約130名の参加を得て開催された。



副会長 林 敏弘



会場の様子



日本選手団 福田富昭団長 (JOC強化委員長)



渡部政治監督



女子選手団



3冠獲得と大活躍の玉泉春美選手

平成18年度 大会日程並びに開催地一覧

| | 大会名 | 開催地 | 日程 | 19年度 |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------|
| 主催大会 | アジア競技大会日本代表予選会 | 大阪府・大阪市 | 5月3日(祝)～5日(祝) | 関東 |
| | 全日本シングルス選手権大会 | 北海道・旭川市 | 5月20日(土)・21日(日) | 九州 |
| | 全日本小学生選手権大会 | 高知県・高知市他 | 7月27日(木)～30日(日) | 群馬県 |
| | 全日本実業団選手権大会 | 秋田県・大館市他 | 8月4日(金)～6日(日) | 大分県 |
| | 全日本社会人選手権大会 | 三重県・鈴鹿市 | 9月2日(土)・3日(日) | 北海道・東北 |
| | JOC杯・全日本ジュニア選手権大会 | 広島県・広島市 | 9月9日(土)・10日(日) | 広島市 |
| | 全日本シニア選手権大会 | 新潟県・新潟市他 | 10月13日(金)～15日(日) | 近畿 |
| | 天皇賜杯・皇后賜杯・全日本選手権大会 | 福岡県・福岡市 | 10月20日(金)～22日(日) | 北信越・東海 |
| | 日本実業団リーグ | 京都府・福知山市 | 11月3日(金)～5日(日) | 福知山市 |
| | 全日本クラブ選手権大会 | 千葉県・白子町 | 11月4日(土)・5日(日) | 白子町 |
| | 日本リーグ | 広島県・広島市 | 11月16日(木)～19日(日) | 広島市 |
| | ジュニアジャパンカップ | 宮崎県・宮崎市 | 11月24日(金)～26日(日) | 宮崎市 |
| | 全日本インドア選手権大会 | 大阪府・大阪市 | 19年2月4日(日) | 大阪市 |
| | 日本リーグ入替戦 | 愛知県・名古屋 | 19年2月17日(土)・18日(日) | 東京都 |
| | 都道府県対抗全日本中学生大会 | 三重県・伊勢市 | 19年3月26日(月)～28日(水) | 伊勢市 |
| 全国小学生大会 | 千葉県・白子町 | 19年3月29日(木)～31日(土) | 白子町 | |
| 共催大会 | ハイスクールジャパンカップ | 北海道・札幌市 | 6月23日(金)～25日(日) | 札幌市 |
| | 西日本シニア選手権大会 | 宮崎県・宮崎市 | 7月1日(土)・2日(日) | 東海・近畿 |
| | 東日本選手権大会 | 千葉県・白子町 | 7月15日(土)・16日(日) | 北信越・静岡 |
| | 西日本選手権大会 | 熊本県・熊本市 | 7月22日(土)・23日(日) | 東海・近畿 |
| | 全日本高校選手権大会 | 大阪府・大阪市 | 8月1日(火)～8日(火) | 佐賀県 |
| | 全日本学生選手権大会 | 岩手県・北上市 | 8月7日(月)～13日(日) | 三重県 |
| | 全日本レディース大会(個人戦) | 神奈川県・厚木市他 | 8月7日(月)～9日(水) | 石川県 |
| | 全国中学校大会 | 愛媛県・松山市 | 8月17日(木)～19日(土) | 宮城県 |
| | 全日本レディース決勝大会(団体戦) | 千葉県・千葉市 | 8月22日(火)～24日(木) | 千葉市 |
| | 日本スポーツマスターズ | 広島県・福山市 | 9月15日(金)～18日(月) | 滋賀県 |
| スポーツ・レクリエーション祭 | 鳥取県・米子市 | 10月21日(土)～24日(火) | 青森県 | |
| 全日本高校選抜大会 | 愛知県・名古屋 | 19年3月29日(木)・30日(金) | 名古屋市 | |
| 主管大会 | 日・韓・中ジュニア交流競技大会 | 韓国・大邱広域市 | 8月23日(水)～29日(火) | 中国 |
| | 第61回国民体育大会 | 兵庫県・姫路市他 | 9月30日(土)～10月4日(水) | 大館市 |
| 国際 | アジア競技大会 | カタール・ドーハ | 12月2日(土)～8日(金) | 韓国 |
| その他 | ねんりんピック | 静岡県・静岡市 | 10月28日(土)～30日(月) | 茨城県 |

ソフトテニス・レッスンDVD

世界に翔ばたけ トッププレイヤーへの道




(財)日本ソフトテニス連盟


DVD/116分
価格4,200円(税込)
本体4,000円+消費税5%

好評発売中

正しい技術を選手に身につけさせる!

そのために指導者が行なうべきことは何だと思いますか?戦略、テクニック、パワー…。確かにそれらも重要ではありますが、本当に必要なことは「基礎技術の徹底した習得」です。このDVDは、選手に本当に必要な基礎技術を集約した指導者のための映像教則です。年齢、性別、キャリアは関係ありません。基礎技術の徹底した習得こそが、より可能性を秘めた大きなプレイヤーの育成につながります。これまでの常識、固定観念を捨て、選手のための指導法をご覧ください。

発行:(財)日本ソフトテニス連盟 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
販売:(株)ベースボール・マガジン社 東京都千代田区三崎町3-10-10

〒101-8381 東京都千代田区三崎町3-10-10
受注センター ☎025-780-1231 FAX025-780-1232
[宅配も承ります。宅配料200円]




